

TIC NEWS

vol. **77**
2005.10

(財)とやま国際センター
〒930-0856 富山市牛島新町5-5
インテックビル4F(タワー111)
TEL (076) 444-2500
FAX (076) 444-2600
E-mail:tic@tic-toyama.or.jp
URL:http://www.tic-toyama.or.jp



南米最大の都市 サンパウロ

富山県・ブラジル サンパウロ州友好提携20周年記念

1985年に富山県とサンパウロ州が友好提携を結んで20年が経ちました。ブラジルとの関係は深く、明治17年に移住が始まってから実に1,858人の県人がブラジルに移住しました。1960年にブラジル富山県人会が設立され、以降富山県は1964年にサンパウロ州から県費留学生の受入れ、1974年には南米からの技術研修員の受入れを始め、あわせて、延べ248人が富山の地で研鑽を積みました。富山からも日本語教師、南米親善訪問団の派遣を行うなど密接な交流が続いてきました。現在は富山県内に住むブラジル人も約4,300人にのぼり、ますます活発な交流が期待されています。

この秋、日本語を“学ぶ”！そして“教える”！

とやま国際センターでは、地域社会の中で実践できる日本語生活支援のあり方を考え”日本語ボランティア養成講座”、”日本語講座”等を開催してきました。現在、日本語支援者として活躍している方々のために”日本語ボランティアじっせん勉強会”を開催しています。この秋には多文化共生社会に取り組むべきテーマとして次の2つの勉強会を特別に開催します。広く皆さまのご参加をお待ちしています！

10月16日(日) 10:30～15:30 環日本海交流会館

“日本語を母語としない子どもたちへの日本語支援について”

講師：松本一子氏(NPO法人子どもの国理事・愛知淑徳大学非常勤講師)

11月20日(日) 10:30～15:30 環日本海交流会館

“共に豊かな地域生活を目指す日本語支援のあり方について”

講師：米勢治子氏(東海日本語ネットワーク副代表・愛知県立大学非常勤講師)

*参加費は無料、申し込みはとやま国際センターまで。

とやま国際センターのホームページで地域の日本語教室の詳細が閲覧できるようになりました!!



地図をクリックするとお近くの日本語教室が検索できます!!

TICが行っている地域日本語支援事業についてはTICのホームページをご覧ください。 <http://www.tic-toyama.or.jp/>

報告!

第4回とやま国際塾

13カ国からの18人の外国人を含む90人が参加した今年の“とやま国際塾”。国際理解協力コースの今年のテーマは“食から世界を考える”。留学生等と中・高校生がワークショップで各国の事情をまじえながら意見を交わしました。留学実践コースでは、5人の先生が準備した“What do you look like?”、“Find The Images”など様々な授業に挑戦しました。

〈国際理解・協力コース〉



グループ対抗ゲーム

ゲームに勝利したチーム…

ワークショップ“食から世界を考える”

発表“私たちにできること”

〈留学実践コース〉



“丸顔”って英語でなんて言う?

とことん発音練習!

ゲーム“Zip, Bong, Zoo”

“英語すごろくゲーム”に挑戦

新しい国際交流員からご挨拶！

ディナラ・リピンスカヤさん(ロシア)

はじめまして。私はロシアの沿海地方の州都であるウラジオストクから来ました。

6年前に隣の石川県で留学をしました。ですから富山に来たのは初めてではありませんが、住むのは初めてです。これから見たいものややってみたいことがいっぱいあります。生け花と太鼓に興味がありますから、出来れば是非習いたいです。もう一つの楽しみは日本料理です。特に刺身と寿司が好きですから富山のブリと他の美味しい魚を食べたいです。旅行も大好きです。石川県で留学していたときに立山へ行けませんでした。今、富山にいる間に立山の色々な見所も見てまわりたいと思います。

富山はとてもきれいなところで、夏も冬もウラジオストクより大体10度ぐらい暖かくとても住みやすいと思います。日本にいる間に色々な体験をしたいと思いますが、こちらからもロシアとかウラジオストクに興味を持っていらっしゃる方に出来るだけいろいろ説明したいと思います。

水曜日の午後とはやま国際センターにいますから、どうぞ、ご遠慮なくおいでください！これからどこかで見かけたら、声をかけてください。



ダン・シナワットさん(アメリカ)

Hello Everyone! サワットディー・クラブ (タイ語)! 富山の皆さん、こんにちは! ダン・シナワットと申します。アメリカ合衆国のオレゴン州から参りましたが、生まれはニューヨークで、タイ王国にも住んでいました。日本は2回目です。4年前、関西外国語大学に留学したことがあります。

富山は初めてですが、山も海もあり、緑豊かな自然に恵まれてすごくきれいな所です。オレゴンにも山も海もあり、富山のように自然が多い所です。皆のんびりしていて、毎日の生活を楽しんでいます。やはり、自然が多い所は人々の心も優しくなると思います。富山の人は忙しい中でも色々な祭りに参加したり、国際交流活動をしたり、初めて来た私のような人でもその優しい心をすぐ感じます。ポートランド市や、バンコクや、大阪などに比べたら富山は住みやすいと思います。

暇さえあれば、バスケットボール、テコンドー、テニス等をよくします。カラオケも週に一回ぐらいは歌いたいと思っています。みなさん私を見つけたら一緒に歌いましょう〜♪。また、色々な富山の事や、お奨めのレストラン等も教えてください。宜しくお願い致します。



カンボジアの小学校に井戸と菜園を！

国際ロータリー創立100周年記念事業として、今年6月、カンボジア南部の港町シアヌークビルにあるサムロンとベト・トレインの2つの小学校に新校舎を建設した国際ロータリー第2610地区富山第2分区。会員の寄付によって新校舎は建ちましたが、今後、それぞれの学校に菜園と給水設備、自家発電装置を整備する予定で、一般からも協力金を募って支援の輪を広げたいとしています。

富山第2分区では菜園や、給水設備の整備に2校合わせて約300万円の費用を見積もっています。富山第2分区では、向こう2年間、100万円相当の文具を会費から贈ることにしていますが、菜園と給水設備については、協力金の寄付を呼びかけています。



お問い合わせ先：

富山西ロータリークラブ事務局 TEL 076-441-7066

協力金振込先：

北陸銀行 電気ビル支店 (普)5025940 国際ロータリー創立100周年記念委員会

富山県とサンパウロ州 交流の歴史

| | |
|-------|---|
| 1910年 | 富山県から3家族10名がサンパウロ州コーヒー農園に入植 |
| 1927年 | 4家族11名がサンパウロ州ミランドポリス市第3アリアンサに富山村建設の先発隊として入植 |
| 1960年 | ブラジル富山県人会発足 |
| 1974年 | 富山県海外技術研修員の受け入れ始まる 高岡市とサンパウロ州ミランドポリス市が姉妹都市となる |
| 1978年 | アリアンサ富山村に富山県から日本語教員を派遣 |
| 1979年 | 富山市とモジダスクルーゼス市が姉妹都市となる |
| 1985年 | 富山県とサンパウロ州が友好提携 サンパウロ州政府に図書を寄贈 |
| 1986年 | サンパウロ州政府推薦海外技術研修員の受け入れ開始 |
| 1988年 | サンパウロ州からサッカーコーチを招へい |
| 1990年 | 児童・生徒作品展の相互開催 南米親善訪問団派遣 |
| 1995年 | サンパウロ州副知事夫妻来県 日本語学習奨学金制度の創設 ブラジル料理教室、ダンス教室、写真展の開催 南米親善訪問団の派遣 |
| 2000年 | 県内在住ブラジル人児童生徒のための図書整備 南米親善訪問団の派遣 |
| 2005年 | 南米親善訪問団の派遣、記念式典開催（予定） |



Brasil ~ P

世界で5番目に大きい国土（日本の1億8千万の人々が暮らすブラジルの人口の21%、南米の総人口の南米の“牽引力”として君臨する目



サンパウロってこんなところ

国際交流員 前

私はサンパウロ州で生まれ育ちました。サンパウロ州の面積は日本の国土くらいあり、人口は4千万人を上回っています。ブラジルであり、工業地帯の広さ及び経済生産率も全国1位を占め、雇用や教育の機会にも恵まれています。

サンパウロ州は気候風土に恵まれた非常に住みやすいところです。ブラジルで最もコスモポリタンなこの州は、素晴らしい自然景観、レジャーの方面でも発展しています。沿岸部の約620キロメートルは、いろんなビーチがあり、サーフィンやヨットに人気です。洞窟、川、山、天然公園、史跡、ヨーロッパ風の街、農村などもあり、観光のオプションは多様化されています。

サンパウロ州はポルトガル、イタリア、スペイン、レバノン、アフリカ、中国、韓国、日本など、世界の各地から移民してきたこの多様な人種が現在のサンパウロ州、そして、ブラジルの社会と文化を形成しました。そして、サンパウロは日本の移民が最もブラジルの他州と共に世界中で知られる最も大きい日系人コミュニティを構成しています。

日本はブラジルにとって非常に身近な国であり、2008年に日本人移民100周年を迎えることになっております。サンパウロ州と富山県との交流活動が行われ、私はこの友好、交流のお陰で国際交流員として来県することができました。1995年に富山県は10周年を記念して日本語学部・日本語科の10名の大学生にこの奨励金制度を提供したからです。私は先輩や後輩とともに2年連続でこの奨励金を受け、現地の機会には私にとって掛け替えのない経験になりました。このような友好活動のお陰で、様々な方が研究、研修ができ、人間としてもこのように両県州の交流の歴史は現在までの日伯関係の発展にも貴重な役割を果たし続けてきました。サンパウロ州と富山県、そして両国に強固になるため、両国の若者に相互交流の機会が与えられ、お互い助け合いつつ協力していければと思います。



Paraiso do Mundo ~

約23倍)に、様々な人種からなる。なかでもサンパウロ州にはブラジルの11%が住み、まさにブラジルの巨大都市です。

田 シンチア 由美さん

ブラジル産業の中心

を誇り、観光地、地方に行くと滝、

た人々を受け入れ、も多い州であり、



富山県も友好提携が締結されて以来、様々な交流奨励金制度を創設し、サンパウロ総合大学の文部科学省現代日本語文法について研究を行いました。この経験を通じて、成長する機会を与えられました。そして、ブラジルと日本の友好関係が今後もさら



ブラジル人に聞く5つの質問



問1 サンバってみんな踊れるんですか？

踊れません、難しいですから(笑) 学校でも習いません。ディスコやバーで、テクノや、アシェーなどの音楽でよく踊ります。ブラジルのディスコは大体12時から始まって5時くらいまで踊ります。



問2 ブラジル人の娯楽って何ですか？

シュハスコ (ブラジル風バーベキュー)、ビリヤード、トランプをしたり、サッカーやプールで泳いだりします。映画やディスコに行ったり、友達の家や別荘で料理をしたりして集まるのも好きですね。



問3 ブラジルで今流行しているものは何ですか？

フォフォ、ショッチなどのダンスミュージック。あとは、日本料理、メキシコ料理、中華料理などが人気です。



問4 日本に輸出しているものはどんな物がありますか？

鉄鉱石、鶏肉、アルミ、大豆、コーヒー、パルプ、オレンジジュース等です。逆に日本からは自動車、自動車部品、半導体、化学品を輸入しています。



問5 ブラジルでもてる男、もてる女の条件は何ですか？

男性は男らしい人。女性はグラマーな人ですね。



問6 ブラジルで有名な日本人って誰ですか？

小泉首相、三浦知良、坂本龍一などです。ポケモンやハローキティのようなキャラクターも大人気です。



問7 日本で不思議なことは？

日本人はルールに従いすぎる？ということでしょうか…。



問8 ブラジルで人気のサッカー選手は？

やはりサッカーの王様ペレですね。ジーコ、ロナウド、ロナウジーニョ等たくさん人気の選手がいます。ブラジルのサッカーではチーム一体となって勝利を目指すことが最大の美徳となっています。

富山県・サンパウロ州友好提携20周年記念企画展開催

サンバやサッカーだけじゃない！ブラジルの文化を体験しよう！民族衣装、楽器、ブラジル映画などたくさんの“ブラジル”を紹介します！

と き 平成17年10月3日(月)～10月31日(月) *日曜、祝日を除く
9:00～21:00 (土曜は17時まで)

ところ 富山県国際交流センター 企画展示コーナー

～ブラジルお奨め本・DVD・CD等～

〈DVD〉“カボエイラ教室”、“エスコーラ・ジ・サンバ”、“黒いオルフェ”など

〈CD〉“Elis&Tom”、“ジョアン声とギター”、“ジル&ミルトン” など多数

〈書籍〉“ブラジルからの熱い風ーサッカー王国雑学ノート”、“バイアー・ブラックーブラジルの中的アフリカを探して”、“現代ブラジル事典”、“ボサノヴァの歴史” など

日本であまり紹介されていない

ブラジル文化の数々がここで体験できます!!

市町村国際協力・交流担当課長連絡会議

と き：平成17年7月11日（月）
ところ：富山県国際交流センター

富山県在住外国人の人口が1%を超えた今、外国籍住民と共生していく上での問題点は何かを話し合うための会議を、(財)とやま国際センターが主催、各市町村の国際交流担当課長等が出席して行いました。今年のテーマは“緊急災害時の外国人支援”。長岡市国際交流センター長、羽賀友信氏を講師にお招きし、多文化共生時代の災害対応について中越地震での大混乱を例に挙げて講演いただき、各市町村の担当者との意見交換会を行いました。



シリアとウガンダで大活躍!! 私たちの送ったこんな物…

昨年から今年にかけて、開発途上国で活躍する富山県出身の青年海外協力隊員に対し、富山県民の皆様方からピアノやリコーダー、ソフトボール用具等が贈られました。現在、それらの器具がどの様に使われているのか、現地の隊員から報告してもらいました。



体育隊員として中東のシリアで、富山県民の皆様から贈られた道具を使って女子ソフトボールを広めようと奮闘中の上田隆徳さん（立山町出身）からの報告！

現在私は、シリアのパレスチナ難民キャンプ地であるアレppoの小学校、中学校で体育の授業を指導しています。今までは男子生徒しか部活動がありませんでしたが、女性にもスポーツの楽しさや、面白さを伝えたいと考え、ソフトボール部を各地方学校で立ち上げようという事になりました。

道具は富山県の友人、家族、立山町の学校、役場の方々の協力を得てどうにか集める事ができました。問題は女性



にスポーツをさせるという事です。イスラムの文化では女性はスポーツなどしないという考えが根強くあり、生徒がスポーツをしたいといっても、親が反対すればそれで済みです。今後は、ソフトボールを女性に普及させる為に、富山県から届いた道具をシリア国内パレスチナ難民キャンプ地に配布して、各地学校を巡回してのルール指導、技術指導をしていこうと考えています。富山県よりソフトボール道具の寄付、募金活動をしてくださった友人や家族、立山町の皆様には本当に感謝しております。残りの活動期間を全力でソフトボール普及活動に取り組んで行きたいと思えます。

音楽隊員としてアフリカのウガンダ共和国に赴任、富山県民の皆さんから贈られたリコーダーでの授業に取り組んでいる神田隊員からの報告！



今春より、東アフリカにあるウガンダ共和国の現地の全寮制中等学校で、音楽を教えています。昨年12月、富山で催された「ピーストークマラソン」の”楽器輸送プロジェクト”において、多くの方々よりリコーダーやピアノを贈っていただきました。本当にありがとうございます。日本からのプレゼントに、生徒も教師も大変喜んでいました。現在、リコーダーを、3年生のリコーダー実技指導（週1回、グループレッスン）で用いています。初めて手にする楽器。大人も子どもも、誰でも楽器と始めて対面するときはドキドキ、ワクワク！ピーピーとリコーダーを鳴らす風景はどこでも変わりません。次々に新しい音の指遣いを知ろうとする、意欲あふれる生徒達。その中で、私の思いも変化していきました。音楽の楽しさを伝えても、それを感じるのは生徒自身。音楽の楽しさを生徒と共有することができる授業をし、「音楽に国境は無い」という言葉の意味を、私と時を共にすることで生徒が実感してくれれば、と思っています。そして、家族や友人、私を支えてくださっている多くの方々に対する感謝の気持ちを大切に、残り1年8ヶ月の活動を全うします。



とやま名誉大使からの便り

ヘレ・バエルスコグ・ホーガーさん

平成16年、アジア太平洋こども演劇祭で来富
出身国：デンマーク



■現在の仕事について

フリーランスの舞台演出家です。リーベ地区のアマチュア劇団、児童演劇の仕事に関わっています。

■近況について

私の主催する児童劇団の子供たちと知的障害を持つ人と一緒にアンデルセンの舞台に取り組んでいます。活動を通して、みんなが自ら楽しみ、ユーモアを発揮し、コミュニケーションをとりながら成長をしていく姿を見て私も学んでいます。

■富山に対する感想

私にとって富山での滞在はおとぎ話のような体験でした。富山の人々はフレンドリーでお互いを助け合います。美味しく健康的な食べ物があり、子供の芸術教育にも力を入れています。

段 衛民さん

平成6年度 海外技術研修員
受入先：県技術専門学院
出身国：中国

■現在の仕事について

遼寧省冶金技師学院で機械、油圧分野の講師をしています。

■富山に対する感想

富山を第二の故郷と思っています。また富山を訪れたいです。今は“とやまファン倶楽部”のメンバーとして富山県の紹介、友好親善に努めています。シニアボランティアの方がこちらで仕事されたときも一緒に2ヵ月間仕事をしました。

富山は電車が少ないですから自家用車がない場合は不便です。もっと仕事をする機会が多く提供されれば外国人だけではなく住む人にとってもっと魅力的なところになると思います。



木村 エリカ 智恵美さん

平成14年度 県費留学生
受入先：富山大学
出身国：ブラジル



右上が木村さん

■現在の仕事について

ロンドリーナ州立大学で体育学を専攻しています。ロンドリーナ文化体育協会で初心者向けの卓球の講師をしています。

■近況について

日本語能力試験に2級に合格しました。日本語学校に戻って1級にも挑戦したいと思います。

また全国卓球大会に出場しました。カテゴリーの中で3位を獲得しました。和太鼓とカラオケの練習も続けています。日本の太鼓グループと競演もしました。

■富山に対する感想

自動車なしで行ける所が少なく大変でしたが、富山県民は外国人を優しく受け入れ、自然を大切に、米と魚のような良質の食材を生産しているので、羨ましいと思います。

ワカモーレ

トルティーヤチップスにつけるディップとして有名です。またファヒータ（温かいトルティーヤで具をくるんだ物）の具にもよく使われます。肉や魚と一緒に食べます。アボカドは13世紀にアステカ人によって栽培され始め、現在ではメキシコのアボカド生産は世界一になっています。



～作り方～

1. アボカドを半分に切り、種をとり、果肉をミキサーにかける。滑らかになったらボールに入れレモン果汁と混ぜる。
2. トマト、玉ネギ、パセリ、青唐辛子をみじん切りし、にんにくをつぶす。
3. 2を1に入れよく混ぜる。
4. 塩で味を調える。



*ワカモーレは冷蔵庫で2,3日もちます。

～材料～

- トマト……………4個
 - 熟れたアボカド……………4個
 - レモン果汁……………1個分
 - 玉ネギ……………1/2個
 - にんにく……………2片
 - パセリ、青唐辛子……………少々
- トルティーヤチップス

TICからのお知らせ

これからの行事予定

日本語ボランティアじっせん”勉強会

10月16日(日) 10:30~15:30 環日本海交流会館

“日本語を母語としない子供たちへの日本語支援について”

11月20日(日) 10:30~15:30 環日本海交流会館

“共に豊かな地域生活を目指す日本語支援のあり方について”

国際交流フェスティバル

10月22日(土)~23日(日) CiCビル内/CiC前広場
外国人カラオケ大会、民族衣装ファッションショー

国際協力県民シンポジウム

10月22日(土) 14:00~16:15 CiCビル5階 多目的ホール

・とやま国際草の根交流賞授賞式

・基調講演元 NHK解説委員 平野次郎氏 “21世紀の国際交流”

JICAボランティア体験談&説明会

10月30日(日) CiCビル3階 会議室

シニア海外ボランティア 13:30~15:30

青年海外協力隊 16:30~18:30

11月9日(水) CiCビル3階 会議室

青年海外協力隊 19:00~21:00

ライブラリー新着情報!

～読書の秋に世界のことをもっと知ろう!!～

国際理解にやくだつ世界の遊び 1~7

くらべてわかる世界地図シリーズ

(暴力、学校、ジェンダー、福祉、文化、環境)

世界の国ぐに探検大図鑑

世界遺産ふしぎ探検大図鑑

21世紀子ども地図館

21世紀子ども英語館

写真集 国歌 世界167カ国

世界の宗教と戦争講座

世界の子どもたち

世界のおまつり

世界を変えるお金の使い方

ようこそボクらの学校へ

The Sesame Street Dictionary

Sesami Street ABC and 123

This is Londonなど



ミロスラフ・サセクのイラストレーションに思わず魅了される
“This is~”シリーズ!

(財)とやま国際センター賛助会員募集中!

国際交流・協力事業にご支援いただけるようお願いいたします。

年会費(1口) 個人会員 3,000円

団体会員 30,000円

*賛助会費に対しては税法上の優遇措置があります。

国旗、民族衣装貸し出します!

新たに南米等の民族衣装も加わりました。お申し込みはホームページからも受け付けます!



<http://www.tic-toyama.or.jp/>